

道徳通信第1号は、いかがでしたか。不定期ではありますが、これからも、道徳学習の様子をお届けしていければと思います。

毎月末、子供たちが道徳の学習で活用しているファイルを持ち帰ります。学習の中で、お子さんがどのように考えているのか、ぜひご覧いただければと思います。持ち帰ったファイルは、表紙の裏に押印する箇所がありますので、確認印を押していただき、翌週学校にご返却ください。よろしくお願いいたします。

では、今回は4組と5年2組の道徳授業の様子です。

2年2組 「ひかり小学校のじまんはね」

2年2組では、「ひかり小学校のじまんはね」という教材で、「よりよい学校生活、集団生活の充実」について考えました。

この教材は、学校の自慢できる場所が見つからないけんた達が、校長先生との交流をきっかけに、自分たちで学校の自慢を積極的に見つけようと決意をするという内容です。

学習では、校庭や給食が自慢のけんたと元気でやさしい子どもたちが自慢の校長先生の違いを比べ「人が自慢なんだ！」と驚いた様子でした。そこへスペシャルゲストとして菊池校長先生が登場し、芝山西小学校の自慢を教えてくださいました。「挨拶や真剣に話を聞く姿が自慢」と聞き、うれしさを目を輝かせていました。最後に、自慢をたくさん見つけるには、「周りをよくみる」「いつも考える」など大切にしたいことに気付くことができました。



子供たちのふりかえり

- ・自分たちも自慢になれてうれしい。
- ・学校だけでなく友だちのよいところも見つきたい。
- ・良いところを見つけると心がぽかぽかするからもっと見つめたい。

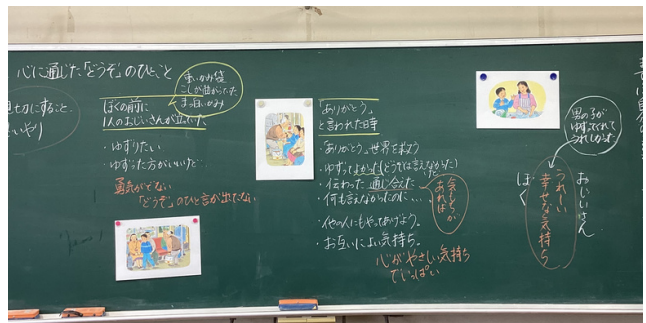


6年1組 心に通じた「どうぞ」のひとこと

6年1組では、「心に通じた『どうぞ』のひとこと」という教材で、「親切、思いやり」について考えました。

この教材は、おじいさんに席を譲りたくても「どうぞ」と言えない主人公が、降りるふりをして席を離れたけれど、別の人が座ってしまい後悔するという内容です。

学習では、おじいさんに「ありがとう」と言われて優しい気持ちになった主人公の気持ちについて考えました。相手を思いやって行動することで、相手もあたたかい気持ちになると同時に、相手に伝わることで自分自身もあたたかい気持ちになるということに気付きました。



子供たちのふりかえり

- ・今までの自分は、思いやりや親切なことを積極的にはできなかったので困っている人がいたら助けていきたい。
- ・感謝されると気持ちがあたたかくなるから、家族・友達、またその他の人にも親切な行動をしていきたい。
- ・親切にされた方もした方もお互い良い気持ちになれると思った。
- ・周りのことをきちんと考えて行動していきたい。

道徳通信への感想や道徳に関するご意見など、保護者の皆様からのコメントをお待ちしております。
何かありましたら、QRコードまたは、切り取り線よりお知らせください。よろしくお願いいたします。

お名前（ ）

ご感想やご意見

◎道徳通信にコメントを載せてもよい【 はい ・ いいえ 】

